

# 「書くこと」を通して宗教と社会を考える —語りえないものを 「書くこと」の意義に着目して—

登壇者 澤崎瑞央(大谷大学真宗総合研究所東京分室 PD 研究員)

「経典の書写と信仰:ブッダのことばを書く意義に着目して」

岡田文弘(身延山大学仏教学部文学・芸術専攻特任講師)

「書くこと」から「生まれること」:『法華経』の周辺を探りながら

村山木乃実(独立行政法人日本学術振興会特別研究員 PD(東京大学))

「自己に向けて「書くこと」:現代イラン宗教的知識人による宗教の再解釈」

鍵谷秀之(同志社大学神学部特別任用助手)

「語りえないものを語る言葉」を実証的に書きうるか:解釈学的考察」

コメンテーター 箕浦暁雄(大谷大学文学部仏教学科教授)

**日時** 2025年3月2日(日)14:00~17:20(13:40開場)

**会場** 大谷大学響流館3階 メディアホール  
京都市北区小山上総町(地下鉄烏丸線「北大路駅」6番出口すぐ)  
※ハイブリッド開催(Zoomウェビナー同時配信)  
※意見交換会あり(会費:4000円程度・大学周辺)

**申込** 事前申込制(2025年2月25日(火)締切)  
参加申し込みはこちらから  
▶<https://forms.gle/3KU7esVjCjbRjKrL6>



主催 大谷大学真宗総合研究所東京分室  
東京都文京区湯島2-19-11 親鸞仏教センター4F  
問合せ [kenkyusyo\\_t@sec.otani.ac.jp](mailto:kenkyusyo_t@sec.otani.ac.jp)